

PFLJ 平成30年度 事業計画

啓発事業

- HP・会報誌の充足（担当 石本）
 - ・会報誌 Buzz で、シェルター動物の PR や動物福祉の最新情報をお届けする
 - ・HP をこまめに更新し、シェルター動物の最新情報を発信する
 - ・ブログ・ツイッター・動画配信を活用し、PR につなげる
- 会員の増員・福利（担当 石本）
 - ・新規加入者への特典をリニューアルし、興味を持ってもらう
 - ・チラシをリニューアルし支援方法の周知を図る
 - ・会費更新のお礼状・更新のお知らせを改善し、きめ細やかに行う
- ドクタードッグ（担当 曾谷）
 - ・ドクタードッグ、訪問スタッフの育成
 - ・新規の訪問場所へのフォローを徹底する
 - ・ドクタードッグの増員（DD チャレンジプロジェクトの実施）認定会随時開催
 - ・ボランティア同士・スタッフの交流を深めるためドクタードッグ親睦会の開催

救済事業

1) 動物の救済（担当 石本・補佐 朝井・齊藤）

- 救済目標数
 - ・引き取り・譲渡による救済 40 頭
 - ・里親探しなどの協力による救済 10 頭
 - ・ミルクボランティア・一時預かりなどの協力による救済 10 頭
 - ・しつけ方指導、飼い方指導、里親探し指導など、指導による救済 400 頭
- リホーム家族への福利の向上
 - ・アフター・フォローの充実（定期的なコンタクトによる飼育相談）
 - ・イベントや同窓会などをより魅力的な内容にし、参加者の増員を図る工夫をする
 - ・リホーム家庭と啓発活動を行えるよう理解を深める
- ボランティアの充足
 - ・ボランティアの継続率が向上するような企画を作成し実施する
 - ・専門学校や学生などへの講習会を実施する
 - ・市民センターなどを活用し、ボランティア希望の方とのマッチングを図る
- リホーム家庭の開拓
 - ・施設のオープンデーを設けて、気軽に見学に来てもらえるようにする
 - ・募金パネルや配布物をより魅力的にして街頭で目を引くように努める
 - ・ブログ・SNSなどを活用し、様子を掲載し、紹介の場を広げる
- ペット飼育支援保険（担当 曾谷）
 - ・既存の会員に継続年数が分かりやすいよう更新の手紙などお知らせを改善する
 - ・保険制度により興味を持ってもらえるよう、利用者などの声をまとめて会報誌などで紹介する。
- 新シェルター建設（担当 石本）
 - ・広報・候補地の選択など、シェルター建設への準備
 - ・新シェルターの具体的な構想を発表する
 - ・基金の集計・目標達成までを随時会員通信・会報誌で報告

2) 動物飼養指導

● 社会化教室 (担当 朝井)

- ・ LINE@を活用し、PFLJのサービスをより利用しやすくなるシステムを導入する
- ・ 子犬向けの保育園プランを考え、年齢に応じた社会化に力を入れる
- ・ PR動画を作成し、預かり環境や内容を利用者知ってもらう

● しつけ方教室 (担当 曾谷)

- ・ 問題行動や散歩などをテーマに特別クラスを開催(継続)
- ・ しつけ教室の様子を定期的にSNSで紹介し、より多くの方に興味を持ってもらう
利用者同士の相談・情報交換の場になるよう1回のクラスの参加者増加を図る

● 飼育物品の提供 (担当 荒田)

- ・ しつけ用品の正しい使用法・知識の説明書を作成する
- ・ 保育利用時にも使用してもらえる飼育物品の紹介、啓発にもつなげる
- ・ 現在の飼育物品の見直し、より利用者のニーズに合ったものを探す
- ・ 譲渡家庭用のおすすめ飼育物品セットの見直し
- ・ フード提供サービスの充実

● トリミング (担当 北岡)

- ・ チラシのポスティングを行い、近隣の方々への周知徹底を強化する
- ・ 作業効率化のため、トリミングスタッフの確保と育成をする
- ・ 専門学校に呼びかけをし、積極的にトリミングの研修生を受け入れる
- ・ 日頃の愛犬のケアを利用者向けに説明する教室を開催、より良い暮らしのサポートに繋げる

動物福祉教育事業 (担当 齊藤・石本)

- ・ 施設を利用し小学生の子どもたちを対象に、いのちの大切さを伝える授業を行う
- ・ 年齢に応じた事業内容を組み、より動物への理解を深めてもらう
- ・ 子ども教育事業拡大を目指し、年齢層の拡大・新規訪問先の調査・アプローチを行う

街頭活動事業 (担当 齊藤)

- ・ 海外の方に記念になる缶バッジを作成・配布し日本のシェルターに興味を持ってもらう
- ・ 海外の方への事業紹介のパネル・配布物をリニューアルし活動の周知を図る
- ・ 歩行者にも分かりやすいよう、のぼり旗を制作しPRに繋げる
- ・ 活動の啓発、譲渡家族、会員、ボランティア増加につながるPRを行う(継続)
- ・ 譲渡家族の活動参加へのお願いに力を入れる
- ・ イオン黄色いレシートキャンペーン参加(継続)

募金箱設置活動 (担当 齊藤)

- ・ 新規設置目標 100個とする
- ・ 既存店訪問時に設置店とのコミュニケーションを図ると同時に近隣への訪問による新規開拓を行う
- ・ 6月～9月・1月・2月に既存店訪問を行い、全店フォローアップを引き続き行う
- ・ 個人・企業への募金箱設置の協力の呼びかけ方法を改善する

その他

スタッフの知識・技術の向上 (担当 石本)

- ・ 勉強会・講習会を定期的で開催 各種講習会・研修会へのスタッフ派遣
- ・ 聴導犬育成開始、育成技術習得のため研修へのスタッフ派遣
- ・ 認定NPO法人H31年度、取得に向けて業務整備を徹底する